

## 1 塗装対象

木製天板(一枚板・幅はぎ材・集成材)

木製家具 / 木製建具

## 2 仕上げ

カラー	塗装後の仕上がり
TS01 クリアのみ	艶/半艶/2分艶の3タイプ

## 3 塗装工程

工程	塗料製品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 (ml / m <sup>2</sup> )	塗り回数	その他	
事前準備	① 有償サンプル	事前にサンプルを入手し、ご利用の木での試し塗りを推奨。(当社ホームページよりお問合せください)				
	② 塗装する木材の確認	塗装する木材の、①以前の塗装の有無、②浸透型塗料で塗られているか、③経年度合いを確認します。無垢の場合は含水率20%以下を推奨。				
	③ 汚れ取り	埃、水分、油分、ヤニは予め除去します。場合によっては、研磨、溶剤処理にて表面をきれいにしてください。				
	④ サンドペーパー掛け	必要に応じて、サンドペーパー(#400~600が目安)にて研磨してください。(必要以上に研磨を行うと、以前の塗装が剥がれます)				
塗装工程	⑤ 攪拌	使用前によく攪拌してください。(塗料の成分が底に沈殿しているため、よく攪拌してください)				
	⑥ 1回目 本塗装 ※1	木守り専科 天板仕上げ+反り抑制(クリアのみ) ☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。	無希釈	約70~100	1回目	薄塗り仕上げ
	⑦ ふきとり(不要)	塗料の効果を最大にするため、塗りっぱなしで施工。ふきとりの必要はありません。				
	⑧ 乾燥	1回目を塗装後、約24時間程度乾燥させてください。				
	⑨ 2回目 本塗装 ※1	木守り専科 天板仕上げ+反り抑制(クリアのみ) ☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。	無希釈	約50	2回目	薄塗り仕上げ
	⑩ ふきとり(不要)	塗料の効果を最大にするため、塗りっぱなしで施工。ふきとりの必要はありません。				
	⑪ 乾燥	2回目を塗装後、36時間以上乾燥させてください。(寒い時期、湿度が高い時期は、通常よりも2倍程度乾燥時間を設けてください)				
※1 一定の反り抑制効果を発揮するためには両面(小口面含む)に施工してください。また小口面は塗料の吸い込みが激しい場合がございます。その際は多めに施工してください。						

## 4 注意事項

- 本塗装は、刷毛(市販の油性塗料用で、豚毛、馬毛等やや硬めのコシの強いもの)、またはコテバケ、スポンジ、布(ウェス)等で、薄く均一に行ってください。(ガン吹きも可能)
- 塗装用具の洗浄には「U-OIL専用クリーナー」をご利用ください。(パンフレットを参照)
- 塗装は薄塗りで仕上げてください。厚塗りをすると乾燥の遅れや、塗装ムラを引き起こす場合がありますので、ご注意ください。
- 夏場の高温時は乾燥が速まり、塗料の硬化スピードも速くなります。冬場の低温時、湿度が高い時は、乾燥が遅くなりますので、長めに乾燥時間を取ってください。
- 使用した刷毛、コテバケ、スポンジ、布(ウェス)等は自然発火の恐れがありますので、水を含んだ状態、または焼却にて処分してください。
- 木守り専科 天板仕上げ+反り抑制は、浸透+塗膜形成塗料のため、ウレタン等の造膜型塗料で塗装した箇所には塗装できません。予めご注意ください。
- 木守り専科 天板仕上げ+反り抑制は天板の反りを抑制する一定の効果はありますが、あくまで一定の効果であり、反りを完全に防止するものではありません。
- 上塗り塗装の際、以前の塗装から半年以内の場合は、乾燥が遅くなる場合がありますので、予めご注意ください。

